

第252回 FASiD Brown Bag Lunch Seminar

ベトナムでIT人材育成！ ハノイ工科大学とSun Asteriskの挑戦 (ODAプロジェクト自立発展の姿)

株式会社Sun Asterisk
Talent Platform Catalyst
広瀬光

2023年3月3日

目次

前半

| | |
|-----------------------------|----|
| 弊社概要のご紹介 | 03 |
| JICA事業（HEDSPI）の継承について | 10 |

後半

| | |
|---------------------------------|----|
| JICA事業（HEDSPI）を民間企業として再構築 | 24 |
| 事業継承後に横展開して発展した取り組み | 37 |

誰もが価値創造に夢中になれる世界

Create a world where everyone has the freedom
to make awesome things that matter.

Sun*は世界平和を目指します。

世界を見渡せば、SDGsで語られるような大きな社会課題から、身の回りの小さな生活の課題まで様々な課題があふれています。

ぼくらはそういった課題解決に、デジタルテクノロジーとクリエイティブで挑んでいきます。

そして課題解決の先の未来、人がそれぞれ思い描く価値を自由に創造できる世界の実現を目指します。

だれもが子供の頃のように、新たな価値を創造することにワクワクし、新しい朝を迎えるのが楽しみでしかたない状態、それがぼくらにとっての世界平和です。

Sun*はそんな「誰もが価値創造に夢中になれる世界」を実現するためのインフラを構築していきます。



会社概要

社名 株式会社Sun Asterisk
英語社名 Sun* Inc.

設立日 2013年3月1日

従業員数 約 2,000名
グループ全体

関連会社 Sun Asterisk : 260+
Sun Asterisk Vietnam : 1,500+
GROOVE GEAR : 95+
NEWh : 15+
Trys : 130+
2022年12月末時点

本社所在地 東京都千代田区大手町

事業内容 デジタル・クリエイティブスタジオ事業
4ヶ国6都市に拠点※

資本金等 33億9,419万円
資本準備金含む

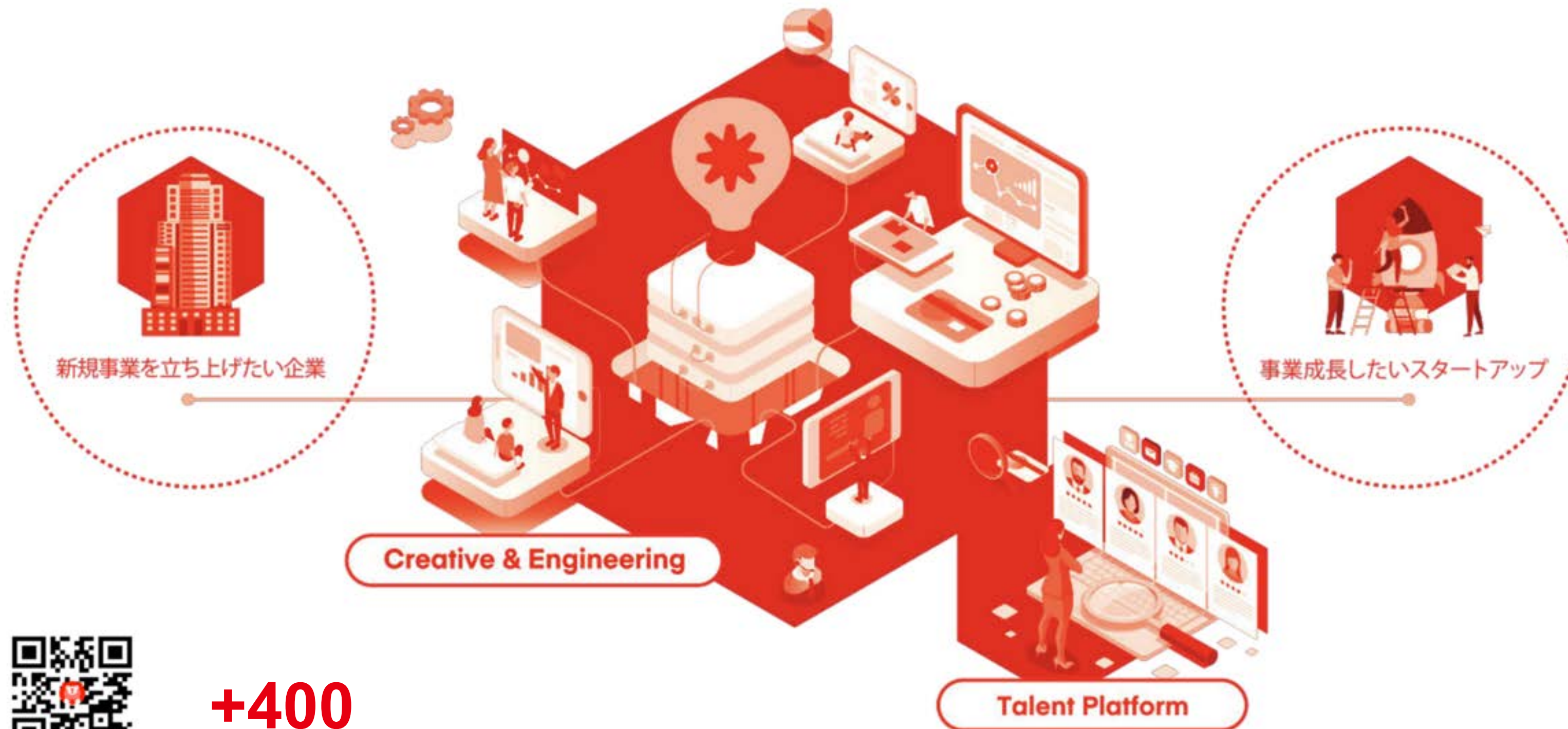
売上 107.4億円
2022年12月期実績

※日本（東京）ベトナム（ハノイ、ダナン、ホーチミン）+ パートナー拠点 フィリピン（セブ）、カンボジア（プノンベン）



Sun*のデジタルクリエイティブスタジオ事業

Digital Creative Studio



MeeTruck
SoftBank Corp./MeeTruck K. K.



Smart League
SSK CORPORATION



0→1Apps
01Booster Inc.



Truckbook / dplus
Monoful Inc.



SAAI Wonder Working Community
Mitsubishi Estate Company CO., LTD.



Core systems related to the
"KUMONO UCYUSEN" NIPPON GAS CO.,LTD.



TOKYO-UENO WONDERER PASS
UENO Cultural Park/
LINE Pay Corporation



Todokun
NPO Bridge for Smile



Update on the website
<https://sun-asterisk.com/works/>

+400

デジタル・テクノロジーとクリエイティブを活用できる最適なチームを編成、あらゆる産業のデジタルイノベーションを促進し、社会をアップデートする価値創造を実現させるサービス

Sun*のソリューションの特徴

一連のプロセスを一気通貫で並走し、リリース後も事業成長を継続的に支援するのがSun*のスタジオモデル



Sun*支援実績例①

DX推進、新規事業開発支援事例：MeeTruck株式会社

ソフトバンク（株）と日本通運（株）の合併会社であるMeeTruck社の新規事業開発支援

配車業務をペーパーレス化し、 基幹配送業務のDXに向けた挑戦

MeeTruck社の創業事業となる「運送会社向け配車支援サービス」の立ち上げをSun*のUXチームが包括的に支援。ユーザーインサイトの抽出、サービス・ブランドデザイン、MVP開発、機動力が高い本開発推進など、プロジェクトの初期段階から事業開発に伴走。一体感あるチームで短期間でのサービスインを実現。



事業共創

エンタープライズDX

ブランド設計

ユーザー中心設計

アジャイル

USER INSIGHT

BRAND DESIGN



ユーザーインサイトを抽出し、
ブランドデザイン・サービスデザインへ反映

PROTOTYPING/MVP



プロトタイピング・MVP開発を
通して早期にユーザーからの
Feedbackを獲得

APP DEVELOPMENT



開発チームのスケラビリティを活かし、
柔軟でスピーディな本開発

PASSIONATE TEAM



熱量あふれる顧客との
一体感あるチーム

Sun*支援実績例②

DX推進、新規事業開発支援事例：日本音楽著作権協会（JASRAC）



著作権管理をDX化し音楽クリエイターがCreation Ecosystemに参画できる世界へ

ブロックチェーン技術を活用した ケンドリックス 楽曲管理システム KENDRIX

日本音楽著作権協会(JASRAC)による改竄不可能なブロックチェーン技術を活用した存在証明機能付き楽曲管理サービスをSun*で開発支援しました。音楽業界では楽曲制作から広報、マーケティングまでを個人で完結して行うDIYクリエイターが増えています。そして彼らは自身で著作物を守り、著作権利用料を徴収するために、著作権への理解が必要で、高いハードルとなっていました。KENDRIXはこの課題に対し、著作権の理解がなくても自身の楽曲を守り、著作権利用料を受け取れる仕組みとして誕生しました。

- 要件定義・仕様策定
- UI/UXデザイン
- 設計
- 開発実装
- インフラ構築

ISSUE クライアントの課題

- ① ブロックチェーンを用いたサービス開発の実績と知見のあるパートナーと伴走したい
- ② サービスアイデアを具現化するために仕様や設計書作成から支援してほしい
- ③ ユーザーの声が反映されたサービスにしたい
- ④ リリース後も機能拡張や継続的な支援をして欲しい

SOLUTION Sun*の課題に対する対応

- ① ブロックチェーンに精通したメンバーをアドバイザーとしてアサインし最大14人の開発体制で伴走
- ② ペルソナと課題の設定、問いのデザインを通じ顧客とソリューションの解像度を上げ仕様を策定
- ③ ユーザーインタビューやPoC、MVPによる実証実験のプロセスから得たニーズをサービスに反映
- ④ リリース後も柔軟に体制を変更し追加の機能開発やサービス拡大に向けて継続的に支援



Sun*支援実績例③

DX推進、新規事業開発支援事例：株式会社EVERING

日本初、Visaのタッチ決済機能を搭載した充電不要なスマートリング

新しい生活スタイルを現実化する 指輪型決済端末EVERING

2021年10月から一般販売が開始された指輪型決済端末「EVERING」の専用アプリの開発を支援。日本側のPMとディレクター2名を中心に、ベトナムで7人の開発チームを提供。アプリ開発だけでなく、物流、EC、決済など海外のステークホルダーの選定、連携などのサービス設計も間接的にサポートさせていただき、製品のスケール化に向けて伴走。3000本のプレ販売が完了後、一般販売がスタート。これまでにない新しい端末として、多くのメディアに取り上げられています。

仕様書・要件定義作成

実装（アプリ開発）

サービス設計サポート

ISSUE クライアントの課題

- 社内にネイティブアプリ開発の豊富な知見やリソースがない
- 開発だけでなくサービスの成功に向けて伴走してくれる経験豊富なパートナーが欲しい

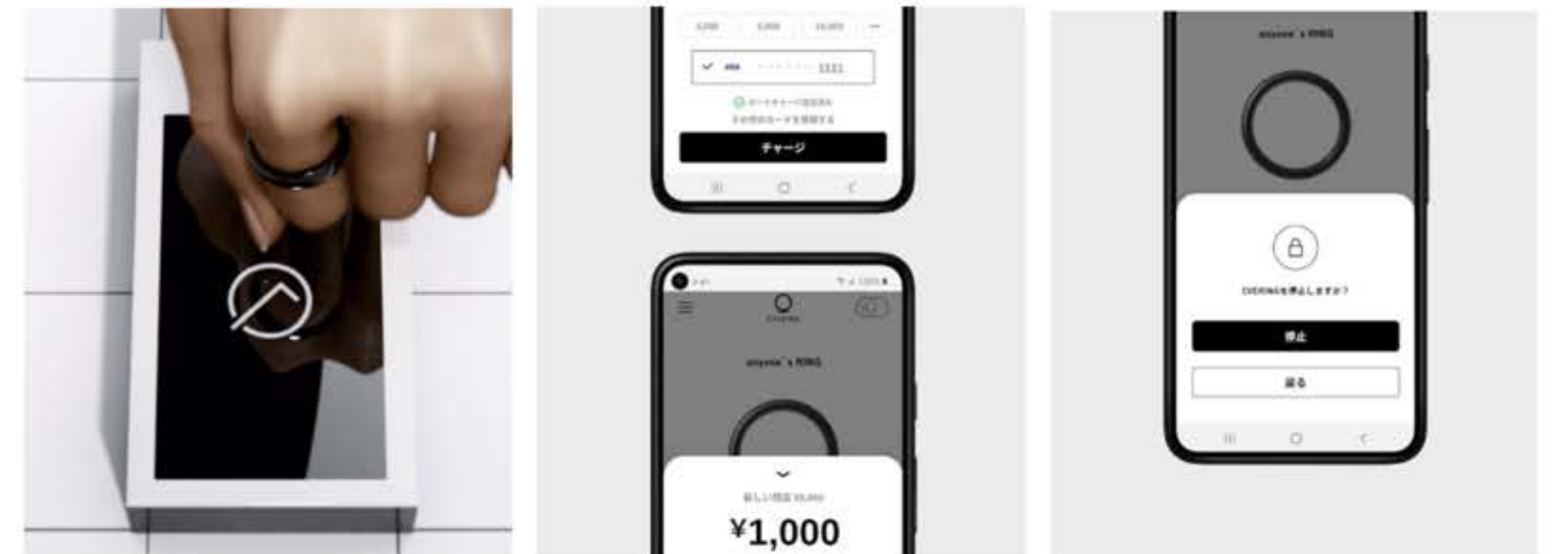
SOLUTION Sun*の課題に対する対応

- アプリの要件定義から開発実装
- サービス設計サポート（物流、ECサイトベンダーなどステークホルダーの選定、連携、CS業務などに関するアドバイス）

EVERING



国際レベルのセキュリティを担保し、スマートフォンアプリから簡単にお金をチャージできるUI/UXを実現



JICA事業（HEDSPI）の継承について

ハノイ工科大学ITSS教育能力強化プロジェクト



IT日本語クラスの作成物。日本語のIT用語を学ぶだけでなく、模擬プロジェクトとして日本語でシステム開発を行い、プロジェクトマネジメントを学ぶ。



IT日本語の授業。



卒業生が設立したソフトウェア会社。卒業生を多く雇用している。

- **ハノイ工科大学**で教育プログラムを開設/運営
- 日本の**ITスキル標準 (ITSS)** に準拠
- 実践的な情報技術 (IT) カリキュラム
- **産業界のニーズに即した人材供給**を目的
- 新校舎建設・教員/事務職員の提供
- 留学生受入れ・教員雇用・技術移転

| | フェーズ1 | フェーズ2 | |
|--------------|--|---|---|
| 上位目標 | IT 及び IT 関連分野に対し、ITSS レベル 3 相当の人材が十分に供給されるようになる。 | | |
| プロジェクト目標 | ハノイ工科大学内に School ² もしくはそれと同等の組織が設立・運営されるための体制が整う。 | | |
| 成果 | 成果 1 | Program ³ の管理のための組織及び機能が確立される。 | ① HEDSPI プログラムが適切に運営管理される。 ② IT の基礎知識及び日本語能力を備えた IT 技術者が輩出される。 |
| | 成果 2 | 教員及び事務職に必要な教授及び事務技能が向上する。 | HEDSPI の組織体制及び運営管理システムが確立され、強化される。 |
| | 成果 3 | ITSS に沿って学部 1 年～3 年及びインテンシブコースのカリキュラム、シラバス、教材 (学生用・教員用) が準備され、また IT 機材が授業用に設定される。 | 産学連携システムが確立される。 |
| | 成果 4 | 学部 1、2 年生及びインテンシブコースが開発され、一部が試行的に実施される。 | 学部において必要なシラバス、教材等が作成され、定期的に改定される。 |
| | 成果 5 | 産業界及び他の機関との連携の仕組みが確立される。 | 社会人向けインテンシブコースに必要なシラバス、教材等が作成され、定期的に改定される。 |
| | 成果 6 | 市場よりカリキュラムに反映させるための IT 及び IT 関連分野の情報が収集される。 | HEDSPI プログラムを通じて IT 業界向けに必要な IT 基礎知識及び日本語能力を持った学生が教育される。 |
| | 成果 7 | 本事業に関する情報がハノイ工科大学の内外において広報される。 | |
| | 成果 8 | School 設立のための準備活動が実施される。 | |
| 日本側の協力金額 | 261 百万円 | 453 百万円 | |
| 協力期間 | 2006 年 10 月～2008 年 9 月 | 2009 年 3 月～2012 年 2 月 | |
| 実施機関 | ハノイ工科大学 | | |
| その他相手国協力機関など | 教育訓練省 (監督機関) | | |
| 我が国協力機関 | (委託先) 学校法人立命館/学校法人慶應義塾 | | |
| 関連事業 | 「高等教育支援事業 (IT セクター)」 (円借款事業。L/A 締結: 2006 年 3 月。2016 年完了予定) | | |

JICA事業（HEDSPI）の継承概要

2014 ~ JICAのサポート終了にともないSun*が自費でプログラムを継承

- ・ 学生のモチベーションを「国費留学」 → 「**日本就職**」に転換
- ・ 大学に自社の社員を職員として派遣し担当科目の運営をSun*が全て担当
- ・ 数々の開発実績によって培われた**独自のエンジニア教育**
- ・ DX推進の実績をもとにカリキュラムをアップデート



JICA事業（HEDSPI）終了時にハノイ工科大学から要請



- ODA事業として終了する時期にハノイ工科大学が継承先となる民間企業を模索
- 継承先として有力な**海外企業**（韓国籍）は機材・人材も十分な条件で供与
- これまで数年間にわたり積み重ねてきた実績が途絶えるリスク
- 日本に興味があり日本語を必死に勉強してきた**学生への懸念**

JICA事業（HEDSPI）の可能性に会社としてのフルコミットを決断

- 会社として事業リスク（本業の開発事業のリソース）
- 当時設立2年で社員規模は50名ほど
- 戦力となる日本人エンジニアの派遣



当時の社名

日本のIT産業の発展にすら直接貢献できる可能性を秘めた存在である
JICAが心血を注ぎここまで構築されたプロジェクトを日本人として諦めてはいけない

JICA事業（HEDSPI）の存続をかけた組織を再構築



開発TOPのCTOをIT講師で派遣し、開発事業の現場はSun*のCEOである小林が全体統括

- 事業継承の第1歩として当時のCTOをIT教師として派遣
- 現場の開発プロジェクトは現CEOである小林が代替して管掌することを決定

実践重視型のITカリキュラムをアップデート



おこなわれたHEDSPIセミナーの様子



現在Sun*が行っている実践IT授業の様子

- 当時のトレンドとなっていたアジャイル開発やプログラミング言語を導入
- 手を動かしてAndroidアプリなどを作る模擬プロジェクトを実施
- 現役の一流エンジニアの経験を活かした授業設計で実践重視のカリキュラムへ

日本語教師チームのフルタイム雇用



Sun*所属の日本語教師チーム

- 受講する学生の日本語レベルの課題
- 日本語教育は大学が担当
- 独自に日本語教師を採用して実施
- 日本語教育もSun*の支援を決意
- フルタイム講師の雇用

現在の教育無償化モデルの構築



ジョブフェアで面接に臨む学生と面接会の様子

参加企業（延べ） **208** 社

内定者数 **570** 名

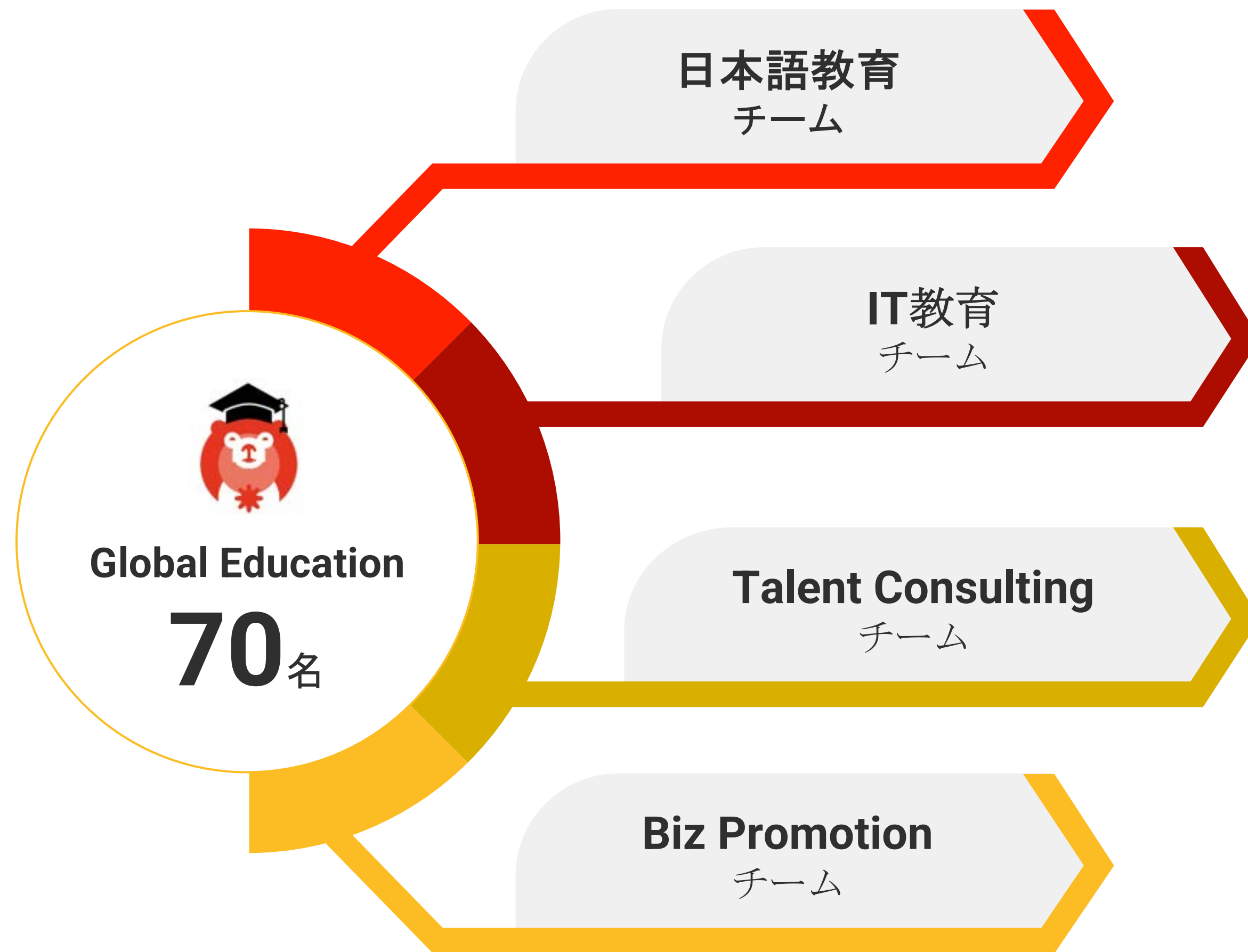
学生のキャリア形成支援

- 学生のJob supportチームを編成
- 目的はモチベーション向上
- Sun*の教育事業の説明
- 学生への定期的なヒアリング
- 先輩との交流会の企画
- 各種イベント企画

学生を影で支えるTalent Consultingチーム



JICA事業（HEDSPI）継承後のチーム体制



13名

日本人教師

大学で日本語教育専攻 / 日本語教育能力検定 有資格者

35名

ベトナム人教師

教育系大学出身者 / 日本語学部 出身者

4名

日本人講師

IT企業事業責任者/PM経験者

4名

ベトナム人講師

IT学部出身者/日系IT企業でSE経験者

11名

未内定・内定・選考会

日本留学経験者 / 日系企業での勤務経験者

3名

大学連携・営業企画

新規事業責任者/人材系企業経験者

JICA事業（HEDSPI）継承後のチーム体制

JICA事業（HEDSPI）の再構築



Global Education

70名

Sun*
独自の
取り組み

日本語教育
チーム

IT教育
チーム

Talent Consulting
チーム

Biz Promotion
チーム

13名

日本人教師

大学で日本語教育専攻 / 日本語教育能力検定 有資格者

35名

ベトナム人教師

教育系大学出身者 / 日本語学部 出身者

4名

日本人講師

IT企業事業責任者/PM経験者

4名

ベトナム人講師

IT学部出身者/日系IT企業でSE経験者

11名

未内定・内定・選考会

日本留学経験者 / 日系企業での勤務経験者

3名

大学連携・営業企画

新規事業責任者/人材系企業経験者

JICA事業（HEDSPI）継承後にたどり着いた民間企業としての事業モデル



JICA事業（HEDSPI）継承後にたどり着いた民間企業としての事業モデル



JICA事業（HEDSPI）を民間企業として再構築

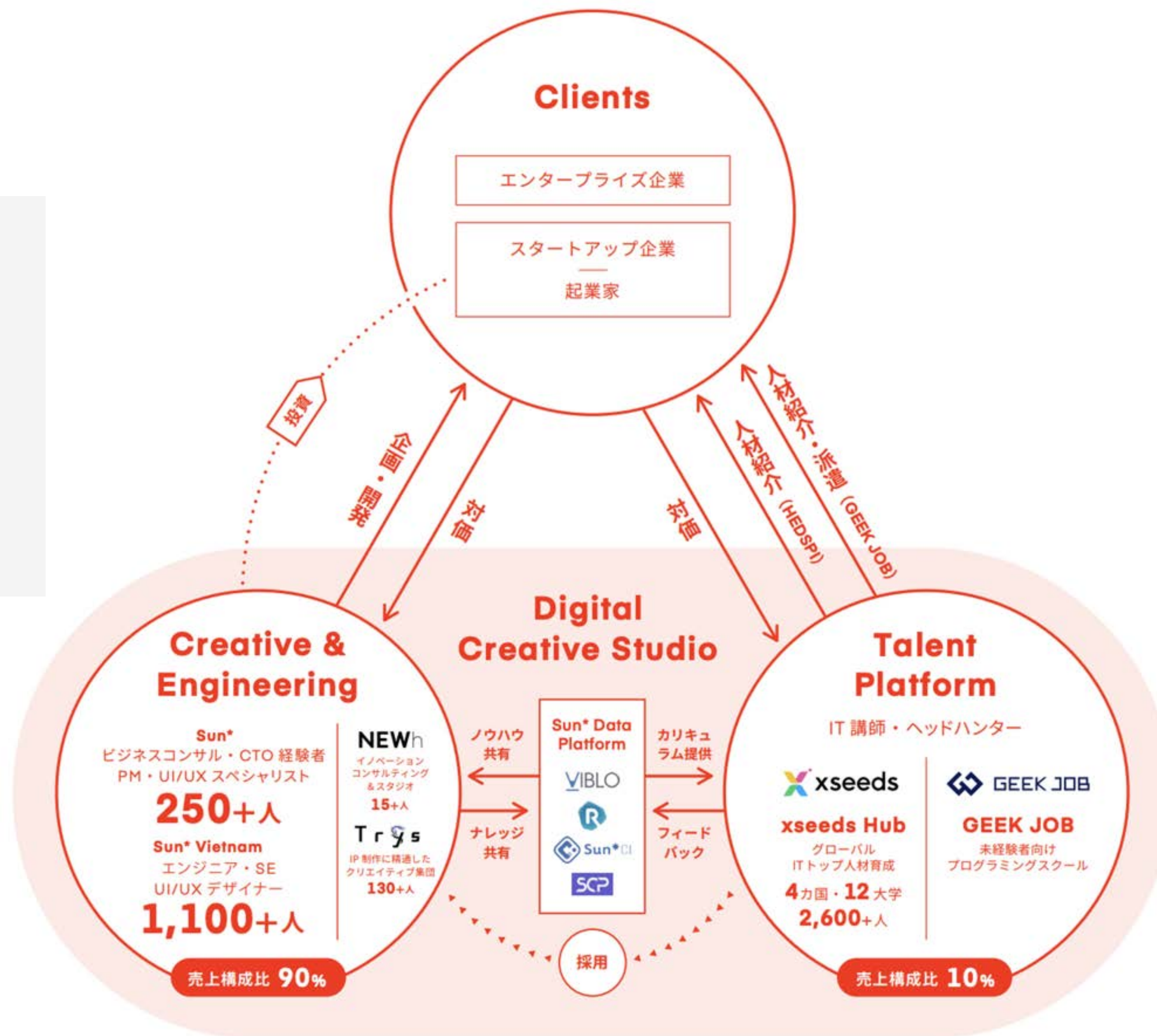
即戦力人材を産み出すためのSun*のエコシステム

DX推進の知見

独自カリキュラム

即戦力人材

- +400の新規事業創出/DX推進を支援
- 大学機関と連携しカリキュラム作成
- Sun*開発体制からのFeedback
- 卒業生の活躍事例をインタビュー



提供しているカリキュラムの全体像



日本語授業 600時間

<目的>

日本人とコミュニケーションするために必要な語彙・文法・表現を習得する

<教材>

- ・ みんなの日本語
- ・ 大地
- ・ JLPT N3対策
- ・ できる日本語
- ・ 日本語生中継 など



実践IT授業 250時間

<目的>

日本のIT企業で働くために必要なフレームワークを習得する

<授業内容>

- ・ プログラミング言語の習得
- ・ チーム開発方法の習得
- ・ 仕様書の作り方
- ・ 模擬プロジェクトの実施 など



内定者授業 320時間

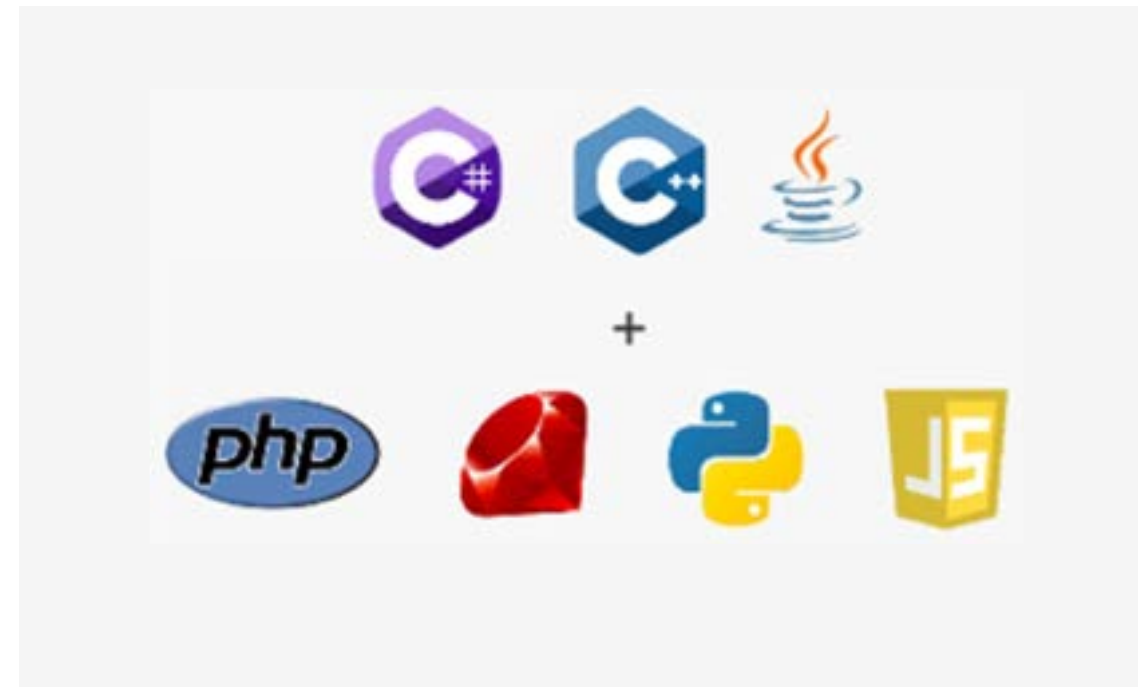
<目的>

日本の会社で活躍できるように、日本の商習慣を理解する

<授業内容>

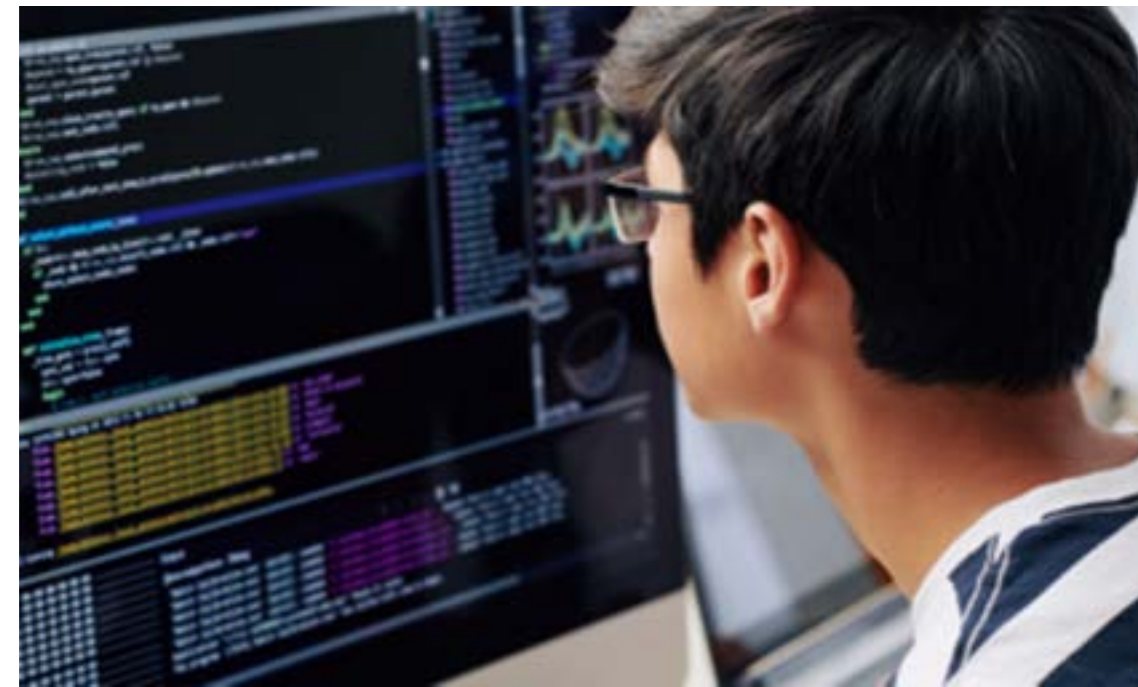
- ・ 会話練習
- ・ ビジネスマナー講座
- ・ マインドセット講習
- ・ JLPT対策 など

実践重視カリキュラム



多数の言語を修得

- C/Javaからスクリプト言語学習
- PHP, Ruby, Python, javascriptなど
- 新規事業に生きるモダンな言語
- DX推進の即戦力となれる授業



実践重視

- 座学 < 実践経験
- データベース構築授業
- コンパイラ関連のカリキュラム
- Webプログラミング実践講座
- アーキテクチャ理解と習得
- ネットワークプログラミング



長期インターン

- 3ヶ月以上のインターンシップ
- Sun*VNで開発ラボにアサイン
- 大学の単位制度にも認定
- 実際の企業で実務の経験
- プロジェクト推進の理解向上



模擬プロジェクト

- 現役のITエンジニアが指導・実践
- PM/コンサルメンバーからの授業
- プロジェクトマネジメントの経験
- アジャイル/スクラム開発の実践
- ITの現場重視の日本語力養成講座

学生のデータベース化

エンジニアを志望する現役学生のイメージ



大学 : ハノイ工科大学

卒業予定年月: 2024年08月

以下の成績を獲得

- ・ 数学オリンピック国内大会で3位を獲得
- ・ ハノイ市内の数学学生コンテストで3位を獲得
- ・ ハノイ市内の数学試験で2位を獲得

- 大学成績 (論理/IT/日本語)
- Github/SNSアカウント
- 資格/表彰歴/アピールポイント
- 成果物 (目的/技術/期間/チーム)
- インタビュー (Q&A)
- 教師からのイチオシポイント

| 種類 | | 学習期間 |
|-------------|-----------------|-------|
| プログラミング言語 | C++ | 7ヶ月 |
| | JavaScript | 36ヶ月 |
| | HTML | 36ヶ月 |
| | CSS | 36ヶ月 |
| | TypeScript | 7ヶ月 |
| フレームワーク | Node JS | 24ヶ月 |
| | Expressjs | 6ヶ月 |
| | React | 5ヶ月 |
| | Svelte | 11ヶ月 |
| | SvelteKit | 3ヶ月 |
| | Sapper | 6ヶ月 |
| | DB | MySQL |
| | MongoDB | 6ヶ月 |
| バージョン管理システム | Git | 36ヶ月 |
| 開発管理ツール | Trello | 24ヶ月 |
| | Slack | 6ヶ月 |
| | Jira | 5ヶ月 |
| | Google Meet | 11ヶ月 |
| | GitLab Issues | 3ヶ月 |
| | GitHub Projects | 6ヶ月 |

| ベトナム現地 IT企業 | |
|-------------|--|
| 開発環境 | Java |
| | JavaScript |
| | HTML |
| | CSS |
| | TypeScript |
| | React |
| | Node JS |
| | Styled Components |
| | Tailwind CSS |
| | OS |
| DB | MySQL |
| | Redis |
| | MarialDB |
| プラットフォーム | 開発管理ツール |
| バージョン管理システム | Git |
| 業務内容 | 私がインターンポジションで配属されている開発プロジェクトは、オンライン学習コミュニティを構築するサービスです。学習内容のメモを取ったり、他ユーザーと学習内容を共有するための機能開発に携わらせて頂いています。 |
| 主な担当機能 | フロントエンドエンジニアとして: <ul style="list-style-type: none"> ・ ユーザープロフィールのページを刷新する ・ フィード更新用のページを実装する ・ React Redux、React Queryそれぞれのアプリケーションをリファクタリングする ・ プロジェクト内の必要ページに対し、クローンを作成する |

学生と企業の接点の創出（面接会運営）

| 日程 | 1日目 | 2日目 | 3日目 |
|----|-------------------------------------|---|---|
| 午前 | | <p>09:00 - 18:00 : 面接会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 面接枠は最大で12枠 ・ 1枠の選考時間は30分 | <p>09:00 - 18:00 : 面接会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 面接枠は最大で12枠 ・ 1枠の選考時間は30分 |
| 午後 | |  |  |
| 夜 | <p>18:00 - 19:00 : 会社説明会</p> | | <p>18:30 - 20:30 : 内定通知 & 受諾</p> |

JICA事業（HEDSPI）卒業生の進路実績



JICA事業（HEDSPI）卒業生への内定後サポート



内定者フォロー

- 日本語能力検定試験対策
- 日本語の実践的な会話対策
- 夏季休暇中の基礎IT研修の補完
- 実習内容のレポートニング
- 月次での内定先企業への報告対応



ビザ取得支援

- 就労ビザ取得
- 企業様側のドキュメント手配支援
- 候補者（内定者）の書類案内
- 日本語/ベトナム語スタッフのサポート



定着支援サポート

- 双方（受入企業様・候補者）と面談
- 定期的なコミュニケーション実施
- 他社事例の共有
- ミスコミュニケーションの対処方法
- 培ってきたノウハウの伝授

Ed-Tech Centreの起ち上げ



ハノイ工科大学と共同でベトナム国内におけるICT教育を推進する「EdTech Centre」を開設

ベトナム教育訓練省と連携し、Ed-Techの共同開発として、オンラインコンテンツ（教育機関向けのMOOC）の開発、ブレンデッドラーニングの取り入れを共同研究

AOTS（先端技術講座）



先端技術講座の提供

AOTSが行う寄附講座事業に採択され、ハノイ工科大学を中心に、AIやブロックチェーン、サイバーセキュリティなどSun*が抱えるR&D分野の最先端技術を、全38回の講義レッスンの中で教授

グローバルPBL



日越合同開発のPBL

課題解決型学習として、日越の学生でProject Based Learningを実施し
異なるバックグラウンドを持つ学生が互いにコミュニケーションしながらシステム開発を推進

産学協働



会津大学×ハノイ工科大学×Sun*による「課題解決型プロジェクト授業」

会津大学、ハノイ工科大学の協働で、日本の地方が抱える潜在的な課題を取り出し
IT開発の文脈で地域イノベーションを起こすための創造プロセスを学習

奨学生制度



成績優秀な学生への奨学生制度を導入

Sun*の教育を受けてくれている優秀な学生が、安心して就職先を選びさらに質の高い学習の機会を提供することを目的とした奨学生制度を創設

事業継承後に横展開して発展した取り組み

積み上げた実績の評価を頂き他大学との提携拡大

ベトナム



ハノイ工科大学
 ・2006年より開始
 ・5学年 1,190名が在籍



ダナン工科大学
 ・2016年より開始
 ・4学年 250名が在籍



ベトナム国家大学
 ハノイ校 技術工学大学
 ・2017年より開始
 ・4学年 110名が在籍



ベトナム国家大学
 ホーチミン校 情報通信大学
 ・2019年より開始
 ・4学年360名が在籍



ベトナム国家大学
 自然科学大学
 ・2020年より開始
 ・1学年 20名が在籍



フェニカ大学
 ・2020年より開始
 ・3学年170名が在籍

大学ランキング

1 **ベトナム国家大学ハノイ校附属 技術工学大学**

2 **ハノイ工科大学**

...

5 **ベトナム国家大学ホーチミン校附属 情報通信大学**

...

9 **ダナン工科大学**

インドネシア



ガジャ・マダ大学
 ・2020年よりSunサポート開始
 ・IT専攻の学生が対象
 ・ANCジャパンと提携してコース提供



インドネシア大学
 ・2021年よりSunサポート開始
 ・IT専攻の学生が対象
 ・ANCジャパンと提携してコース提供

大学ランキング

1 **ガジャ・マダ大学**

2 **インドネシア大学**

3 **ボゴール農科大学**

マレーシア



マレーシア工科大学
 ・2020年よりサポート開始
 ・機械、電気・化学系
 ・JICAのODA案件であるMJIITをサポート

大学ランキング

1 **マラヤ大学**

2 **マレーシア工科大学**

3 **マレーシア サインズ大学**

ブラジル



サンパウロ大学
 ・2021年よりJICA基礎調査案件として実施



カンピーナス大学
 ・2021年よりJICA基礎調査案件として実施



**ミナス・ジェライス
 連邦大学**
 ・2021年よりJICA基礎調査案件として実施

大学ランキング

1 **サンパウロ大学**

2 **カンピーナス大学**

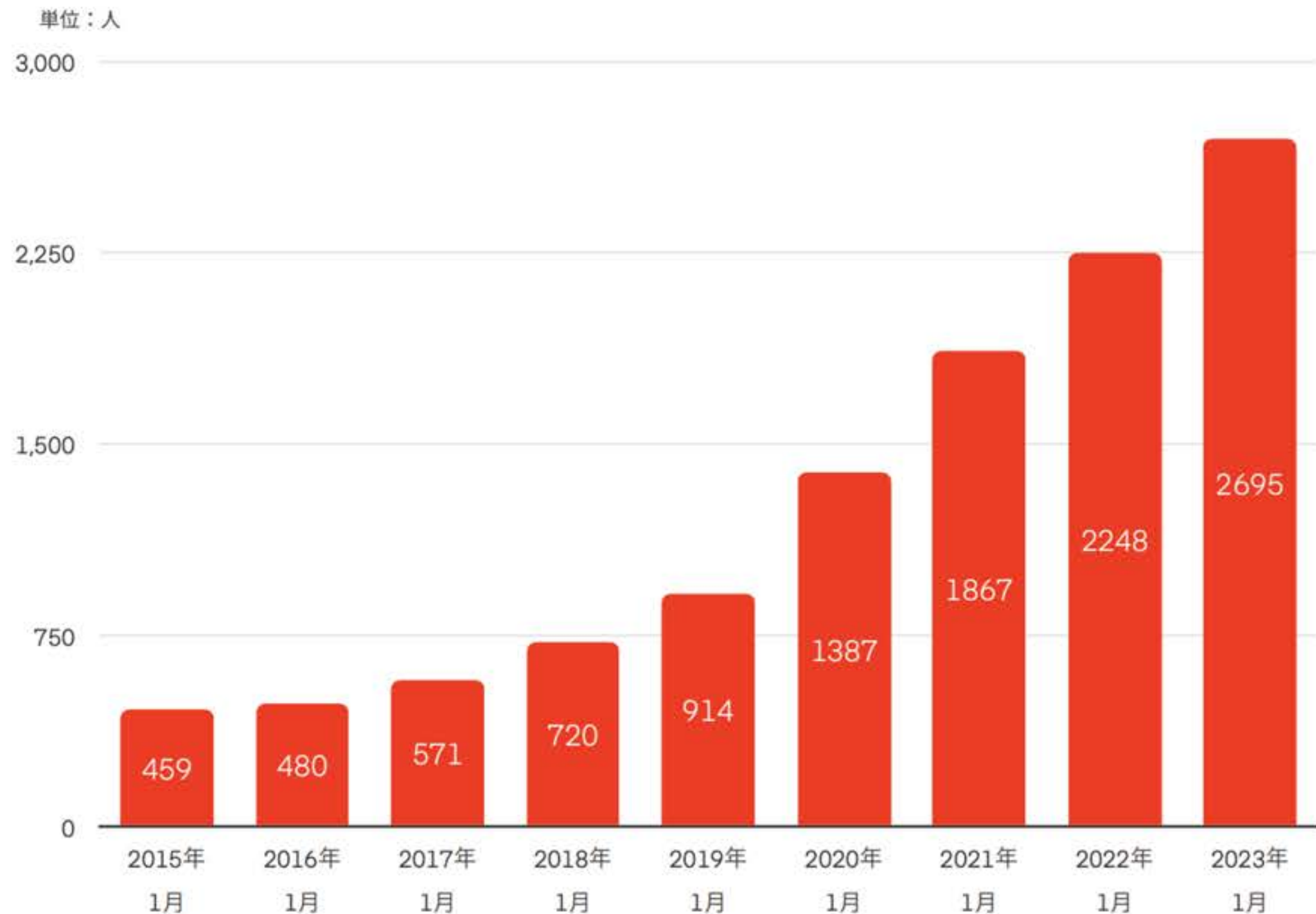
3 **ミナス・ジェライス連邦大学**

引用元 : The World University Ranking

受講学生の状況（JICA事業カリキュラムの展開拡大）

日本国内で活躍できる人材をASEAN諸国を中心に産学連携において輩出
現在、南米の大学3校にもプログラムを提供し、今後も拡大予定

Sun*提供プログラム受講生徒数の推移



提携大学

9校

ベトナム

1. Hanoi University of Science and Technology
2. The University of Danang-University Science and Technology
3. Vietnam National University Hanoi-University of Engineering and Technology
4. Vietnam National University HCMC-University of Engineering and Technology
5. Vietnam National University Hanoi-University of Science
6. Phenikaa University

インドネシア

7. Gadjah Mada University
8. University of Indonesia

マレーシア

9. Malaysia-Japan International Institute of Technology

プログラム提供大学

3校

ブラジル

10. University of Campinas
11. Federal University of Minas Gerais
12. University of São Paulo

コーディングコンテスト開催



各大学横断のコンテスト

数学・データ構造・アルゴリズムなど、学生がこれまで学んできたスキルを
楽しみながら他大学の学生と競い合い切磋琢磨する場としてコーディングコンテストを開催

アイデアソン開催



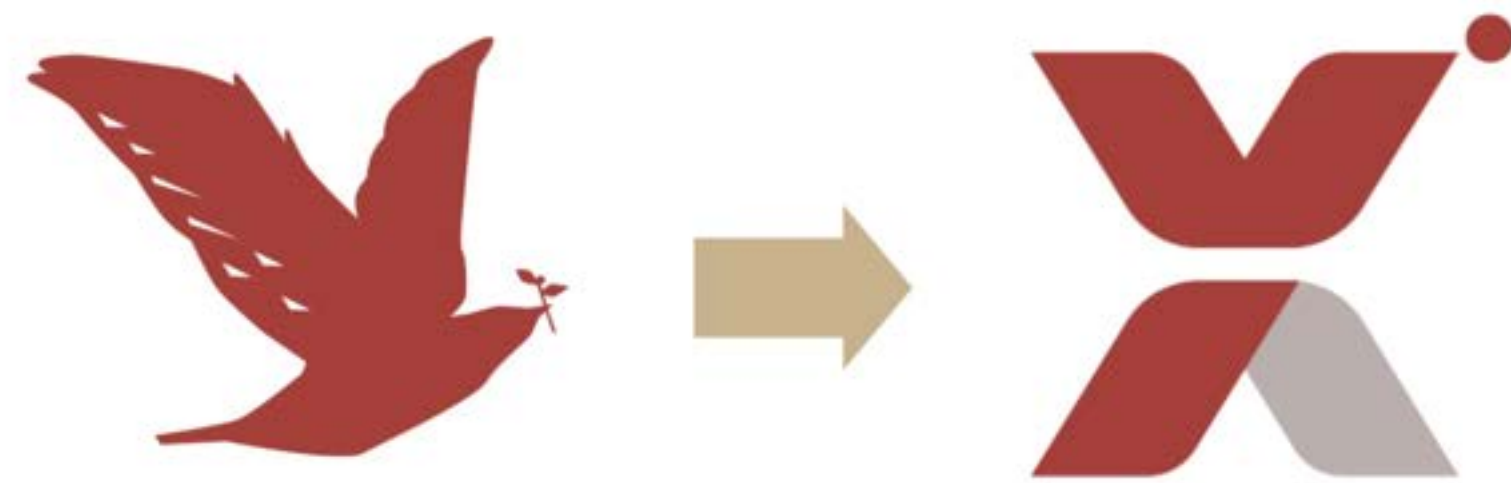
ビジネス視点の養成

学生の即戦力人材としての成長を促す場として、プロダクト開発におけるユーザー視点を徹底的に考え抜くためのアイデアソンを開催

ブランド再構築

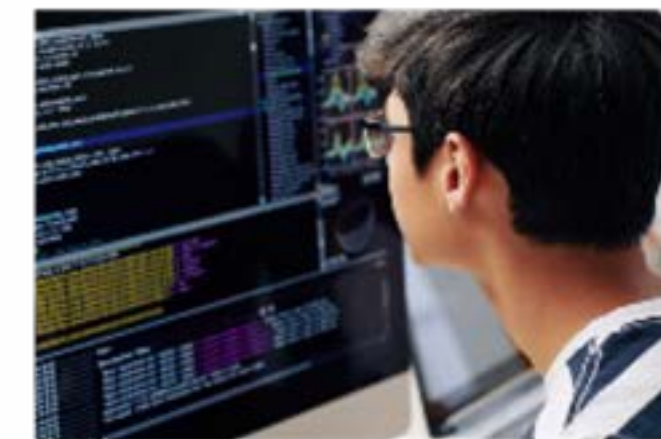


未来のイノベーター輩出プラットフォーム



Symbol : bird

Bird carrying seeds across the border



SDGs

GOAL 1

貧困をなくす取り組み

毎年ベトナムの地方の小学校に訪問し子供たちに寄付を行っています。近年、ベトナムは都市部こそ経済発展して豊かになりましたが、地方はまだ貧しい地域がたくさんあります。そのような地方の貧困地域の学校には貧しい家庭環境で生活している子どもたちがたくさんいます。このような子どもたちに生活用品や文房具などを寄付しています。イベントの写真を見ていただければわかりますが、民族衣装を着ている子どもたちや大人が多くいます。ベトナムの地方(特に山岳地帯など)は少数民族が生活しており、多くの山岳地帯などの地方に住む人達はベトナムの経済発展の恩恵を享受していません。Sun*はこのような人々に寄付を通して貧困対策を行っています。



GOAL 4

質の高い教育の無償提供

SDGsの掲げる持続可能な世界の実現を達成するためには世界中の人々に質の高い教育が行き渡るようにすることが重要だとSun*は考えます。基礎教育に加え、高度教育及び社会に出てからも学び続ける生涯学習の機会が身近にある環境を整えることが重要です。無料で質の高い教育を提供することができれば、貧富の差関係なく質の高い教育を提供できます。教育を受けて高度なスキルを身につけることができれば、日本のような先進国で高度人材として活躍するチャンスが生まれます。このような無料教育を受けて先進国の高度人材として採用される成功事例が増えれば、無料教育の機会を拡大し、より多くの人々に教育の機会を提供できると考えています。このような考えから、Sun*では、質の高い教育の無償提供事業に取り組んでいます。ベトナム、インドネシア、マレーシアの大学と提携しITや日本語教育の教師をボランティアで派遣しています。



GOAL 9

DXで産業と技術革新の基盤を作る

Sun*のクリエイティブスタジオの事業を通してイノベーションの推進を図っています。またDXの推進に力を入れて包括的かつ持続可能な産業化の推進に取り組めます。また、事業全体を通して、継続的な産業を作るイノベーションを起こせる為のテクノロジー人材を育てることに取り組んでいます。事業のデジタル化は単なる業務の効率化ではなくさらなる発展性を追求すること。Sun*は様々な産業が持続的に成長し社会に貢献できるようになるためには、現場課題の中心に挙げられるDX=デジタルトランスフォーメーション(Digital Transformation)が重要だと認識しています。DXとは既存事業、業務のデジタル化と捉えられることが多いですが、私たちは単なる「業務の効率化」を目指すのではなく、DXに取り組む全てのパートナーに「業務構造変革による事業の発展性」を提案し、持続的な発展こそがデジタル化の恩恵であることを共通のゴールとすることでより事業を成長させることができます。Sun*では300社に上る様々なプロダクト開発実績を軸に企業様ごとの課題内容に応じて、上流コンサルティング、開発実装、独自のMVP開発パッケージ商品の提供に加え、UI・UX、デザインシンキングに特化したコンサルティング商品、教育事業を通じた人材支援までDXに必要なソリューションを網羅的に提供しています。



ご清聴ありがとうございました

Sun* Inc. (株式会社 Sun Asterisk)

